

エコアクション21

環境経営レポート 2022年度 対象期間(2022年5月～2023年4月)

健和電気株式会社



健和電気株式会社の頭文字「K」を中心に展開したコーポレート・マークは、第・緑・赤が表現する企業コンセプトの、三位一体とも言うべきバランス・調和をシンボライズしています。この3つのコーポレート・カラーは電気の源である字根をイメージした紫により、事業の広がりや無限の可能性を、地球をイメージした緑により、確やかな成長とコミュニケーションによる和を、ヒトをイメージした赤により、知性と情熱を、それぞれ表現しています。また第4のカラーとなる白は、未知への創造性を意味しています。

発行日 2023年5月22日

目 次

I、取組の概要・対象範囲

II、取組の対象範囲

III、環境経営方針

IV、環境経営目標(目標及び実績)・環境経営計画

V、環境経営計画

VI、実施体制

VII、環境経営目標・経営計画の実績・取組結果とその評価・次年度の取組

VIII、環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無

IX、代表者による全体の評価と見直し・指示【9-01】

組織概要・事業活動

I ・ 組織の概要

(1) 事業者名及び代表者名

健和電気株式会社
代表取締役 福山 誠一

(2) 所在地

〒812-0004
福岡県福岡市博多区榎田二丁目3番23号

(3) 環境管理責任者及び環境管理事務局

担当者：営業部 森川 高匡

連絡先 電話 092-473-5289 FAX 092-411-5297

E-meil morikawa@e-kenwa.co.jp

(4) 事業活動内容

一般電気設備工事 設計 施工
上下水処理施設電気設備工事 設計 施工
電気通信工事 設計 施工
労働者派遣業務
関連商品販売

(5) 許可

福岡県知事許可（特-3）第105871号 電気工事業
福岡県知事許可（般-3）第105871号 電気通信工事業

(6) 事業年度

年度5月1日～翌4月30日

(7) 事業規模

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
売上高 百万円	545	509	434	383
従業員数 人	11	11	11	10
事務所面積m ²	201.38	201.38	201.38	201.38

II ・ 対象範囲

当社は全組織・全活動を対象範囲にしています。

Ⅲ ・ 環 境 経 営 方 針

<企業理念>

健和電気株式会社は、電気工事業を社業として事業活動を通じて深刻化する地球温暖化の防止と循環型社会形成を目指し、環境負荷の低減を図るために、社員一丸となり、環境保全活動に取り組みます。

<行動指針>

※ 環境経営システムを構築し、次の事項を重点的なテーマとして継続的に改善します。

1. 二酸化炭素排出量の削減に取り組みます。
2. 廃棄物の削減とリサイクル(分別を徹底し有効活用)の促進を実施します。
3. 水資源の節約に努めます。
4. 社会貢献活動に努めます。
5. 環境に配慮された、グリーン製品の使用を促進します。
6. 化学物質の適正管理に努めます。
7. 環境に配慮した現場の取組及び顧客への環境面で有用な提言を行います。

※ 自社の電気設備工事技術を活かし、社会システムの効率化に貢献します。

※ 当社の事業活動に関わる環境関連法規制等を遵守します。

※ 環境レポートを公表し、地域社会とのコミュニケーションを図ります。

※ この環境経営方針は全社員に周知し、環境負荷の低減に対する意識向上に努めます。

制定日 2015年 5月 1日

改定日 2023年 8月 1日

健和電気株式会社
代表取締役 福山 誠一

IV

中長期環境経営目標

項目	基準年度	目標値	目標値	目標値	目標値	
	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	
会社全体のCO ₂ 排出量(kg-CO ₂)	31,488	31,173	31,015	30,858	30,700	
二酸化炭素排出量削減	電力		2021年度比1%削減	2021年度比1.5%削減	2021年度比2%削減	2021年度比2.5%削減
	合計kWh	14,994	14,844	14,769	14,146	14,619
	事務所	14,994	14,844	14,769	14,694	14,619
	建設現場等	0	0	0	0	0
	CO ₂ 換算(kg-CO ₂)	5,862.65	5,804.02	5,774.71	5,745.40	5,716.08
	ガソリン		2021年度比1%削減	2021年度比1.5%削減	2021年度比2%削減	2021年度比2.5%削減
	合計L	10,526.01	10,420.75	10,368.12	10,315.49	10,262.86
	事務所 L	8,641.14	8,554.73	8,511.52	8,468.32	8,425.11
	建設現場等 L	1,884.87	1,866.02	1,856.60	1,847.17	1,837.75
	CO ₂ 換算(kg-CO ₂)	24,437.82	24,193.44	24,071.25	23,949.06	23,826.87
	軽油 L		2021年度比1%削減	2021年度比1.5%削減	2021年度比2%削減	2021年度比2.5%削減
	建設現場等 L	452.32	447.80	445.54	443.27	441.01
	CO ₂ 換算(kg-CO ₂)	1,187.04	1,175.17	1,169.23	1,163.30	1,157.36
廃棄物排出量削減	廃棄物		2021年度比1%削減	2021年度比1.5%削減	2021年度比2%削減	2021年度比2.5%削減
	一般廃棄物(事務所) kg	500.30	495.30	492.80	490.29	487.79
	一般廃棄物(現場) kg	8.10	8.02	7.98	7.94	7.90
	一般廃棄物合計	508.40	503.32	500.77	498.23	495.69
	産業廃棄物(現場)	建設廃棄物の排出抑制に努める。				
建設リサイクル率	95%以上					
水使用量削減	水道 m ³		2021年度比1%削減	2021年度比1.5%削減	2021年度比2%削減	2021年度比2.5%削減
	事務所	50	49.00	49.00	49.00	48.00
	現場	0	0.00	0.00	0.00	0.00
受注先への環境配慮提案(現場)	件/年	2件	2件	2件	2件	
社会貢献活動(会社)	年2回	年2回	年2回	年2回	年2回	

※ 電力による二酸化炭素排出量は、2021年度九州電力(株)による調整後排出係数0.391kg-CO₂にて算出

※ ガス使用量全体の5%割合以下のため、事務所、現場共に除外する。

※ 灯油過去2年間使用量0%で実績であり、事務所、現場共に除外する。

IV- I

環境経営目標・実績(2022年単年度目標)

項目	基準年度	目標値	実績	差異	達成率%	
	2021年度	2022年度	2022年度	2021年度	2022年度	
会社全体のCO ₂ 排出量(kg-CO ₂)	31,488	31,173	27,792	3,380.63	112%	
二酸化炭素排出量削減	電力		2021年度比1%削減			
	合計kWh	14,994	14,844	14,089	755.06	105%
	事務所	14,994	14,844	14,089	755.06	105%
	建設現場等	0	0	0	0.00	—
	CO ₂ 換算(kg-CO ₂)	5,862.65	5,804.02	5,508.80	295.22	105%
	ガソリン		2021年度比1%削減			
	合計L	10,526.01	10,420.75	9,211.27	1,209.48	113%
	事務所 L	8,641.14	8,554.73	7,735.78	818.95	111%
	建設現場等 L	1,884.87	1,866.02	1,475.49	390.53	126%
	CO ₂ 換算(kg-CO ₂)	24,437.82	24,193.44	21,385.44	2,808.00	113%
	軽油 L		2021年度比1%削減			
	建設現場等 L	452.32	447.80	342.30	105.50	131%
	CO ₂ 換算(kg-CO ₂)	1,187.04	1,175.17	898.31	276.86	131%
廃棄物排出量削減	廃棄物		2021年度比1%削減			
	一般廃棄物(事務所)kg	500.30	495.30	448.00	47.30	111%
	一般廃棄物(現場) kg	8.10	8.02	0.00	8.02	—
	一般廃棄物合計	508.40	503.32	448.00	55.32	112%
	産業廃棄物(現場)		—	272.43 t	—	—
建設リサイクル率		95%以上	99.6%	4.6%	105%	
水使用量削減	水道		2021年度比1%削減			
	事務所 m ³	50	49.00	52	▲ 3.00	94%
	建設現場等 m ³	0	0.00	0	0.00	—
受注先への環境配慮提案(現場)	—	2件	2件	0	100%	
社会貢献活動(会社)	—	年2回	年2回	0	100%	

V

環境経営計画書

(2022年5月1日～2023年4月30日)

取組目標		達成手段	担当者	スケジュール
二酸化炭素排出量削減				
電力	事務所	空調の設定温度の適温化(夏27℃冬20℃) 昼休み等の不要な照明の消灯 業務終了後は速やかに退社する 外出・退出時はパソコン電源を切る エアコンフィルター清掃	鈴木	5月～4月 8月 12月
電力	現場	空調の設定温度の適温化(夏27℃冬20℃) 昼休み等の不要な照明の消灯 外出・退出時はパソコン電源を切る	高木寛	5月～4月
ガソリン	事務所	車両のタイヤ空気圧の適正維持 急加速、急減速を控える(エコドライブ推進) 効率的な営業ルートを選定 定期的な車両の整備	鈴木	5月～4月
ガソリン・軽油	現場	車両のタイヤ空気圧の適正維持 急加速、急減速を控える(エコドライブ推進) 不要な荷物は載せない、相乗りしていく 定期的な車両の整備 必要な量を購入する	高木寛	5月～4月
廃棄物排出量削減				
一般廃棄物	事務所	ペーパーレス(データにてメール活用) 使用済用紙の裏紙使用 ごみ分別リサイクルの徹底	鈴木	5月～4月
一般廃棄物	現場	ペーパーレス(データにてメール活用) 使用済用紙の裏紙使用 ごみ分別リサイクルの徹底	高木寛	5月～4月
産業廃棄物	現場	廃棄物の分別(混合がでないように)分別 によるリサイクルの徹底 マニフェストによる管理 積込、荷下し時混在しないように工夫する	高木寛	5月～4月

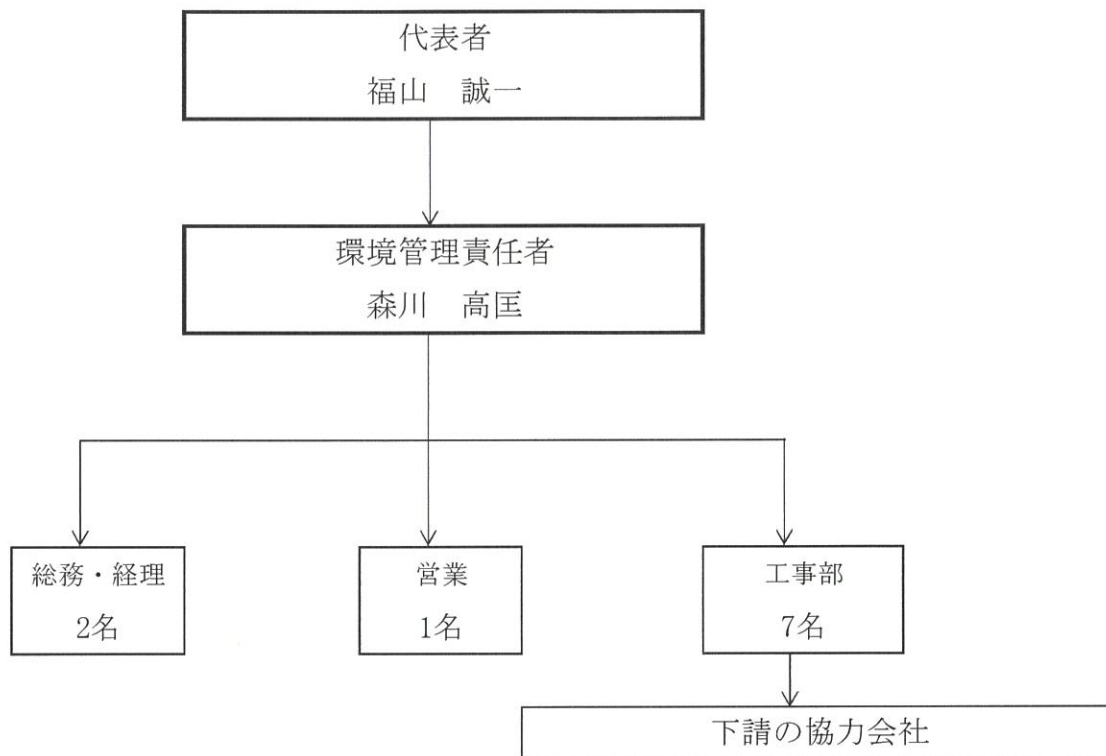
V-I

取組目標		達成手段	担当者	スケジュール
水使用量削減				
上水	事務所	水道の蛇口を調整し節水に努める 節水呼びかけシールの張付	鈴木	5月～4月
上水	現場	建設機械等の洗車は泥を落としてから 節水呼びかけシールの張付	高木寛	5月～4月
グリーン購入の推進				
	事業所	文房具等のグリーン購入に配慮する 再生材料から作られた製品の購入	鈴木	5月～4月
環境に配慮した現場取組				
	現場	指定機械への対応 緊急時の体制及び対応 交通管理への対応 環境対策への対応 現場環境への対応 再生資源の利用の促進への対応 工期短縮 創意工夫による提案 その他環境に配慮した施工方法 科学物資使用量の抑制及び管理 グリーン購入 生物多様性の保全と持続可能な利用のための取組 現場周辺の清掃活動	高木寛	5月～4月
化学物質適正管理 ※				
	現場	SDSにより管理する(下請業者)	高木寛	5月～4月
建設リサイクル促進				
	現場	分別を徹底し有効活用リサイクル率向上	高木寛	5月～4月
受注先への環境配慮提案				
	現場	環境配慮提案を促進する	高木寛	5月～4月
社会貢献活動の実施				
	会社	事務所周辺の清掃	鈴木	8月 12月
	現場	現場周辺の清掃	高木寛	5月～4月

※ 当社は化学物質の使用はないが下請業者が使用する為適切な管理指導する。

VI ・ 実施体制図及び役割・責任・権限表

組織・対象範囲(全社・全事業)



環境目標・活動計画実績
(2022年度)

活動期間(2022年5月～2023年4月)

		年間目標	年間実績	目標達成	
二酸化炭素排出量削減(電気)		kg-CO2	5,804	5,509	○
環境目標	電気使用量削減排出係数九州電力2021年調整後0.391kg-CO2使用	事務所 kWh	14,844	14,089	○
		現場 kWh	0	0	○
		合計 kWh	14,844	14,089	○
達成の為に目標根拠、達成改善内容活動計画を順守する。					
活動目標達成の為に活動計画					
①空調の設定温度の適温化(夏27℃冬20℃)					
②昼休み等の不要な照明の消灯					
③外出・退出時はパソコン電源を切る					
④業務終了後は速やかに退社する					
⑤エアコンフィルター清掃					
評価	<p>電力kWh</p>				
	<p>3,000.00 2,000.00 1,000.00 0.00</p> <p>5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 4月</p> <p>■青(計画) ■赤(実績)</p>				

1/4期				2/4期				3/4期				4/4期			
5月	6月	7月	5~7月	8月	9月	10月	8~10月	11月	12月	1月	11~1月	2月	3月	4月	2~4月
641	873	1,725	3,239	1,982	1,531	1,029	4,542	593	843	1,444	2,880	1,461	1,158	809	3,428
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
641	873	1,725	3,239	1,982	1,531	1,029	4,542	593	843	1,444	2,880	1,461	1,158	809	3,428

環境目標の次年度取組コメント

次年度も計画目標にて取組む。基準年度より1.0%削減する。

環境計画取組事項評価(取組している○、一部不十分△、取組不十分×)

○	○	△	△	△	△	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	△	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○
—	—	—	—	○	—	—	—	○	○	○	○	○	○	○	○

環境計画の次年度取組

次年度も現計画をもって取組む。(暑さ対策を行い、コロナ対策による換気を十分にしていく。)

四半期毎の評価 評価は環境管理責任者が実施(枠内に評価日記載する。)

1/4期評価	2/4期評価	3/4期評価	4/4期評価
目標不達成。7月の使用量が暑さにてエアコン使用量増加、エアコン温度調整等にて削減に取組む。(R4.8.2)	目標不達成。8月9月の使用量が暑さにてエアコン使用量増加、エアコン温度調整等にて削減に取組む。又、電気の消し忘れがないようにする。(R4.11.2)	目標達成。エアコン使用を控える等の削減を行うと共に不要な照明の消灯、業務終了後は速やかに退社して継続して取組む。(R5.2.4)	目標達成。エアコン使用を控える等の削減を行うと共に不要な照明の消灯、業務終了後は速やかに退社して継続して取組む。(R5.5.2)

		年間目標	年間実績	目標達成	
水使用量の削減 環境目標					
環境目標	水使用量削減	事務所 m3	49	52	×
		現場 m3	6	0	×
		合計 m3	55	52	×
達成の為に目標根拠、達成改善内容活動計画を順守する。					
活動目標達成の為に活動計画					
①水道の蛇口を調整し節水に努める。					
②節水呼びかけシールの張付					
③建設機械等の洗車は泥を落としてから					
評価	<p>水道 m3</p>				
	<p>60.00 40.00 20.00 0.00</p> <p>5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 4月</p> <p>■青(計画) ■赤(実績)</p>				

1/4期				2/4期				3/4期				4/4期			
5月	6月	7月	5~7月	8月	9月	10月	8~10月	11月	12月	1月	11~1月	2月	3月	4月	2~4月
4.0	4.0	4.5	12.5	4.5	4.0	4.0	12.5	4.5	4.5	4.5	13.5	4.5	4.5	4.5	13.5
0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
4.0	4.0	4.5	12.5	4.5	4.0	4.0	12.5	4.5	4.5	4.5	13.5	4.5	4.5	4.5	13.5

環境目標の次年度取組コメント

次年度も計画目標にて取組む。基準年度より1.0%削減する。

環境計画取組事項評価(取組している○、一部不十分△、取組不十分×)

○	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

環境計画の次年度取組

次年度も現計画をもって取組む。(コロナ対策に手洗を十分にしながら)

四半期毎の評価 評価は環境管理責任者が実施(枠内に評価日記載する。)

1/4期評価	2/4期評価	3/4期評価	4/4期評価
事務所7月増加にて不達成、手洗等は継続しつつ削減活動を行っていく。現場対象無。(R4.8.24)	事務所全ての月増加にて不達成、手洗等は継続しつつ削減活動を行っていく。現場対象無。(R4.8.24)	事務所全ての月増加にて不達成、手洗等は継続しつつ削減活動を行っていく。現場対象無。(R4.2.7)	事務所全ての月増加にて不達成、手洗等は継続しつつ削減活動を行っていく。現場対象無。(R5.5.2)

Ⅶ-Ⅰ 環境目標の実施状況 環境経営目標・経営計画の実績・取組結果とその評価・1年度取組

環境目標・活動計画実績
(2022年度)

活動期間(2022年5月～2023年4月)

		年間目標	年間実績	目標達成	
二酸化炭素排出量削減・ガソリン使用量		kg-CO2	24,192	21,385	○
環境目標	ガソリン使用量削減 事務所	L	8,554	7,736	○
	ガソリン使用量削減 現場	L	1,866	1,475	○
	合計		10,420	9,211	○
達成のための目標根拠、達成改善内容 活動計画を順守する。					
活動目標達成のための活動計画					
活動計画	①車両のタイヤ空気圧の適正維持				
	②急加速、急減速を控える(エコドライブ推進)				
	③定期的な車両の整備				
	④効率的な営業ルートの選定				
	⑤不要な荷物は載せない、相乗りしていく。				
評価					

1/4期				2/4期				3/4期				4/4期			
5月	6月	7月	5~7月	8月	9月	10月	8~10月	11月	12月	1月	11~1月	2月	3月	4月	2~4月
471.88	740.35	683.78	1,896.01	617.33	685.79	670.91	1,974.03	571.92	834.98	533.2	1,940.1	665.21	644.43	616	1,925.64
27.70	82.83	82.15	192.68	137.79	135.29	137.57	410.65	152.03	245.62	48.77	446.42	152.72	184.58	88.44	425.74
499.58	823.18	765.93	2,088.69	755.12	821.08	808.48	2,384.68	723.95	1080.6	581.97	2,386.52	817.93	829.01	704.44	2,351.38

環境目標の次年度取組コメント

次年度も計画目標にて取組む。基準年度より1.0%削減する。

環境計画取組事項評価(取組している○、一部不十分△、取組不十分×)

○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
△	△	○	○	△	△	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	△
△	△	○	△	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	△	○	○

環境計画の次年度取組

次年度も現計画をもって取組む。(毎月の車両管理を継続していくこと)

四半期末の評価 評価は環境管理責任者が実施(枠内に評価日記載する。)

1/4期評価	2/4期評価	3/4期評価	4/4期評価
事務所不達成、5月6月増加している。現場は達成する。継続して現活動計画を取組んで行く。(R4.8.3)	事務所・現場共達成している。継続して削減に取組む(R4.11.2)	現場不達成。遠方等によるものでエコドライブを削減に取組んで行く。(R5.2.5)	事務所・現場共達成している。継続して削減に取組む(R5.5.2)

		年間目標	年間実績	目標達成	
二酸化炭素排出量削減・軽油使用量		kg-CO2	1175	898	○
環境目標	軽油使用量削減 現場等	L	448	342	○
	達成のための目標根拠、達成改善内容 活動計画を順守する。				
活動目標達成のための活動計画					
活動計画	①車両のタイヤ空気圧の適正維持				
	②急加速、急減速を控える(エコドライブ推進)				
	③定期的な車両の整備				
	④効率的な営業ルートの選定				
	⑤不要な荷物は載せない、相乗りしていく。				
	⑥必要な量を購入する。				
評価					

1/4期				2/4期				3/4期				4/4期			
5月	6月	7月	5~7月	8月	9月	10月	8~10月	11月	12月	1月	11~1月	2月	3月	4月	2~4月
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	30.00	83.26	86.38	199.64	100.66	42.00	0.00	142.66
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	30.00	83.26	86.38	199.64	100.66	42.00	0.00	142.66

環境目標の次年度取組コメント

次年度も計画目標にて取組む。基準年度より1.0%削減する。

環境計画取組事項評価(取組している○、一部不十分△、取組不十分×)

—	—	—	—	—	—	—	—	○	○	○	○	○	○	—	○
—	—	—	—	—	—	—	—	○	△	△	△	○	○	—	△
—	—	—	—	—	—	—	—	○	○	○	○	○	○	—	○
—	—	—	—	—	—	—	—	○	○	○	○	○	○	—	○
—	—	—	—	—	—	—	—	○	△	△	△	○	○	—	△
—	—	—	—	—	—	—	—	○	○	○	○	○	○	—	○

環境計画の次年度取組

次年度も現計画をもって取組む。(作業車等使用時は、現場計画し効率よく利用すること)

四半期末の評価 評価は環境管理責任者が実施(枠内に評価日記載する。)

1/4期評価	2/4期評価	3/4期評価	4/4期評価
使用量ゼロ	使用量ゼロ	高所作業車、発電機の使用が昨年度よりあり、目標不達成です。作業車使用時は効率良く使用する。(R5.2.4)	目標は達成です。作業車使用時は効率良く使用する。(R5.5.2)

Ⅶ-Ⅱ 環境目標の実施状況 環境経営目標・経営計画の実績・取組結果とその評価・取組の取組

環境目標・活動計画実績

(2022年度) 活動期間(2022年5月～2023年4月)

		年間目標	年間実績	目標達成
一般廃棄物排出量削減・				
環境目標	一般廃棄物排出量 事務所	kg	495	448 ○
	一般廃棄物排出量 現場	kg	8	0 ○
	合計		503	448 ○
達成のための目標根拠、達成改善内容 活動計画を順守する。				
活動目標達成のための活動計画				
活動計画	①ペーパーレス(データにてメール活用)			
	②使用済用紙の裏紙使用			
	③ごみ分別リサイクルの徹底			
	④			
	⑤			
評価				

1/4期				2/4期				3/4期				4/4期			
5月	6月	7月	5~7月	8月	9月	10月	8~10月	11月	12月	1月	11~1月	2月	3月	4月	2~4月
17.7	21.8	16.4	55.9	92.8	16	18.2	127	19.2	55	12.7	86.9	86.2	14.1	77.9	178.2
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17.7	21.8	16.4	55.9	92.8	16	18.2	127	19.2	55	12.7	86.9	86.2	14.1	77.9	178.2

環境目標の次年度取組コメント

次年度も計画目標にて取組む。基準年度より1.0%削減する。

環境計画取組事項評価(取組している○、一部不十分△、取組不十分×)

○	○	○	○	△	○	○	△	○	○	○	○	△	○	△	△
△	○	○	○	△	○	○	△	○	○	○	○	△	○	○	△
○	○	○	○	△	○	○	△	○	○	○	○	△	○	○	△

環境計画の次年度取組

次年度も現計画をもって取組む。(特にペーパーレス、データにてメール等を活用する)

四半期毎の評価 評価は環境管理責任者が実施(枠内に評価日記載する。)

1/4期評価	2/4期評価	3/4期評価	4/4期評価
目標達成。継続してペーパーレス等を行い取組んで行く。(R4.8.2)	不達成、8月事務所にて段ボール・雑誌リサイクル業者引き渡し分にて不達成となる。(R4.11.2)	目標達成。継続してペーパーレス等を行い取組んで行く。(R5.2.2)	不達成となっており、事務所の段ボール処分(リサイクル)により増加する。現場は達成しています。紙のリサイクル徹底すると共にメール等を活用し削減に取組む。(R5.5.2)

		年間目標	年間実績	目標達成
産業廃棄物排出量削減・リサイクル向上				
環境目標	産業廃棄物	t	実績把握	272.43 —
	産業廃棄物リサイクル率	%	95	99.6 ○
達成のための目標根拠、達成改善内容 活動計画を順守する。				
活動目標達成のための活動計画				
活動計画	①廃棄物の分別(混合がでないよう)に分別によるリサイクルの徹底・率の向上			
	②マニフェストによる管理			
	③積込、荷下し時混在しないように工夫する。			
評価				

1/4期				2/4期				3/4期				4/4期			
5月	6月	7月	5~7月	8月	9月	10月	8~10月	11月	12月	1月	11~1月	2月	3月	4月	2~4月
0	0.05	0	0.05	0	8.82	11.985	20.805	26.46	69.526	70.275	166.26	46.665	38.645	0	85.31
—	98.0%	—	—	—	99.7%	100.0%	—	99.9%	98.3%	99.9%	—	99.9%	99.9%	—	—

環境目標の次年度取組コメント

次年度も計画目標にて取組む。リサイクル率95%以上を目指す。(重量tについては、毎月の実績を把握していく。)

環境計画取組事項評価(取組している○、一部不十分△、取組不十分×)

—	○	—	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○
—	○	—	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○
—	○	—	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○

環境計画の次年度取組

次年度も現計画をもって取組む。(元請工事により変動しますが、分別を徹底しリサイクル率アップして行く。)

四半期毎の評価 評価は環境管理責任者が実施(枠内に評価日記載する。)

1/4期評価	2/4期評価	3/4期評価	4/4期評価
リサイクル率目標達成、現活動を継続して取組む。(R4.8.4)	リサイクル率目標達成、現活動を継続して取組む。(R4.11.4)	リサイクル率目標達成、現活動を継続して取組む。(R5.2.4)	リサイクル率目標達成、現活動を継続して取組む。(R5.5.2)

VII-III (2022年度)

取組結果とその評価・次年度の取組

環境責任者	環境管理責任者評価
	評価者氏名 森川 高匡 年度評価日 2023年5月22日

項目			全体評価	
			目標達成状況	評価（是正・次年度の対応取組含む）
二酸化炭素排出量	事務所	電力	○	目標達成(継続して空調の温度設置、不要な電気の消灯を徹底して行く)
		ガソリン	○	目標達成(継続エコドライブの徹底、効率的なルートを選択を行っていく)
	現場	電力	○	目標達成(継続して削減に取組む)
		ガソリン・軽油	○	目標達成(継続して削減に取組む)
	全体	CO2	○	目標達成(継続して削減に取組む)
廃棄物	事務所	一般廃棄物	○	目標達成(データ活用により紙の消費削減に継続して取組と共にサイクルを徹底して行く)
	現場	一般廃棄物	○	目標達成(継続して削減に取組んでいく。)
	全体		○	合計では達成できている(継続して取組む)
	産業廃棄物		—	実績272.43 t
水	事務所		×	目標不達成(継続して削減に取組む)
	現場		×	目標不達成(継続して削減に取組む)
	全体		×	目標不達成(継続して削減に取組む)
グリーン製品使用促進(事務所・現場)			○	備品関係購入できるものは継続して購入していく
環境に配慮した現場取組(現場)			○	9件元請工事の現場活動確認チェックを行った。(継続して活動チェックを行い是正等の取組んで行く)
化学物質適正管理(現場)			○	1件確認し管理を行った(継続して下請指導に取組んで行く)
建設リサイクル推進(現場)			○	廃棄物リサイクル率99.6パーセントにて取組が出来た(継続して取組む)
受注先への環境配慮提案(現場)			○	2件提案行った(継続して取組む)
社会貢献活動(会社)			○	2回事務所周辺の清掃活動行った。又、各現場毎にそれぞれ清掃活動を行った。(継続して取組む。)
システム運用管理			○	年間スケジュールにより計画をもって行った。(継続して取組む。)
環境法令遵守状況			○	令和2年度環境関連法規等の遵守状況の結果、違反はありませんでした。(継続して取組む)
その他(苦情・その他)			○	令和4年度苦情はありませんでした。
評価者・評価日			—	森川 2023年5月10日
評価にあたっての指示			—	事務所の水道使用量については、当社はトイレ・手洗・ポット湯にての使用になり可能な限り削減に努めていく
承認				

環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

当社の事業活動に適用される環境関連法規等は次のとおりです。

適用される法規等	適用される事項(施設・物質・活動等)	遵守
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の管理・排出 マニフェストの交付・回収・保管の適正処理	○
建設リサイクル法	分別解体と再資源化	○
電気工事士法	電気工事業の登録及び業務の適正な実施	○
騒音規制法	特定建設作業の届出 建設現場での機械使用時の騒音レベルの遵守	今年度該 当無し
振動規制法	特定建設作業の届出 建設現場での機械使用時の振動レベルの遵守	今年度該 当無し
フロン排出抑制法	簡易点検の記録	○
労働安全衛生法	医師による健康診断の実施	○

令和5年4月に上記の環境関連法規等の遵守状況を確認・評価した結果、違反はありませんでした。
また、関係機関等からの指摘、利害関係者からの訴訟もありませんでした。

Ⅸ ・ 代表者による全体の取組状況の評価及び見直しの結果

	環境目標	環境目標の達成状況	環境活動計画の実施状況	コメント
環境目標の達成状況・ 環境活動計画の実施状況	二酸化炭素排出量の削減	○	○	現活動の徹底して行く。
	一般廃棄物排出量の削減	○	○	紙くず・段ボールをリサイクル化を継続して行く。
	産業廃棄物リサイクル率向上	○	○	目標値を達成出来ました。
	水使用量の削減	×	○	使用量が少なく不達成となり、可能な限り削減して行く。
	グリーン購入の推進	○	○	事務用品等エコ製品購入推進を行った。
	社会貢献活動	○	○	事務所周年2回活動を行った。現場は現場毎に活動を行った。
	現場の環境取組	○	○	各現場で取組みが実施された。
	課題とチャンス対応:求人募集	○	○	専門学校より1名採用となり、継続して募集をして行く。
課題とチャンス対応:受注の増加・利益拡大	○	○	情報の収集、コストの削減に取組む。	
環境関連法規等の遵守状況のチェック結果	遵守できている。法令違反ありません。			
外部からの苦情等の受付結果	苦情等の発生はありません。			
前回の代表者の指示事項とその取組結果	社員の意識を高め、目標達成に継続して努めると共に、現場内では関連業者とCo2削減に取組む。紙屑・段ボールのリサイクル化の徹底を継続して行う事。			
その他 (前回の審査での指摘事項の改善結果、その他改善への提案)	文書類の見直しを行い簡素化する。			

記録その2:評価及び変更の必要性和指示(代表者) 記録日:2023年5月22日

環境経営システムが有効に機能しているか	有効に機能している変更なし
環境への取組は適切に実施されているか	適切に実施されている。
環境方針 変更の必要性(○有 ●無)	2021年8月1日一部変更する。変更必要は無。
環境目標・環境活動計画 変更の必要性(○有 ●無)	変更無
実施体制 変更の必要性(○有 ●無)	変更無
その他の環境経営システムの要素 変更の必要性(○有 ●無) 指示事項	<ul style="list-style-type: none"> ○ 取組の対象組織・活動の明確化 ○ 環境負荷の把握・評価 ○ 環境関連法規等の取りまとめ ○ 教育・訓練の実施 ○ 環境コミュニケーションの実施 ○ 実施及び運用 ○ 緊急事態への準備及び対応 ○ 環境文書及び記録の作成・管理 ○ 取組状況の確認及び評価 <p>関連業者に積極的に当社の環境活動を理解して頂き協力願うこと。 リサイクル可能なものは、リサイクルして資源を大切にしていくこと。</p>